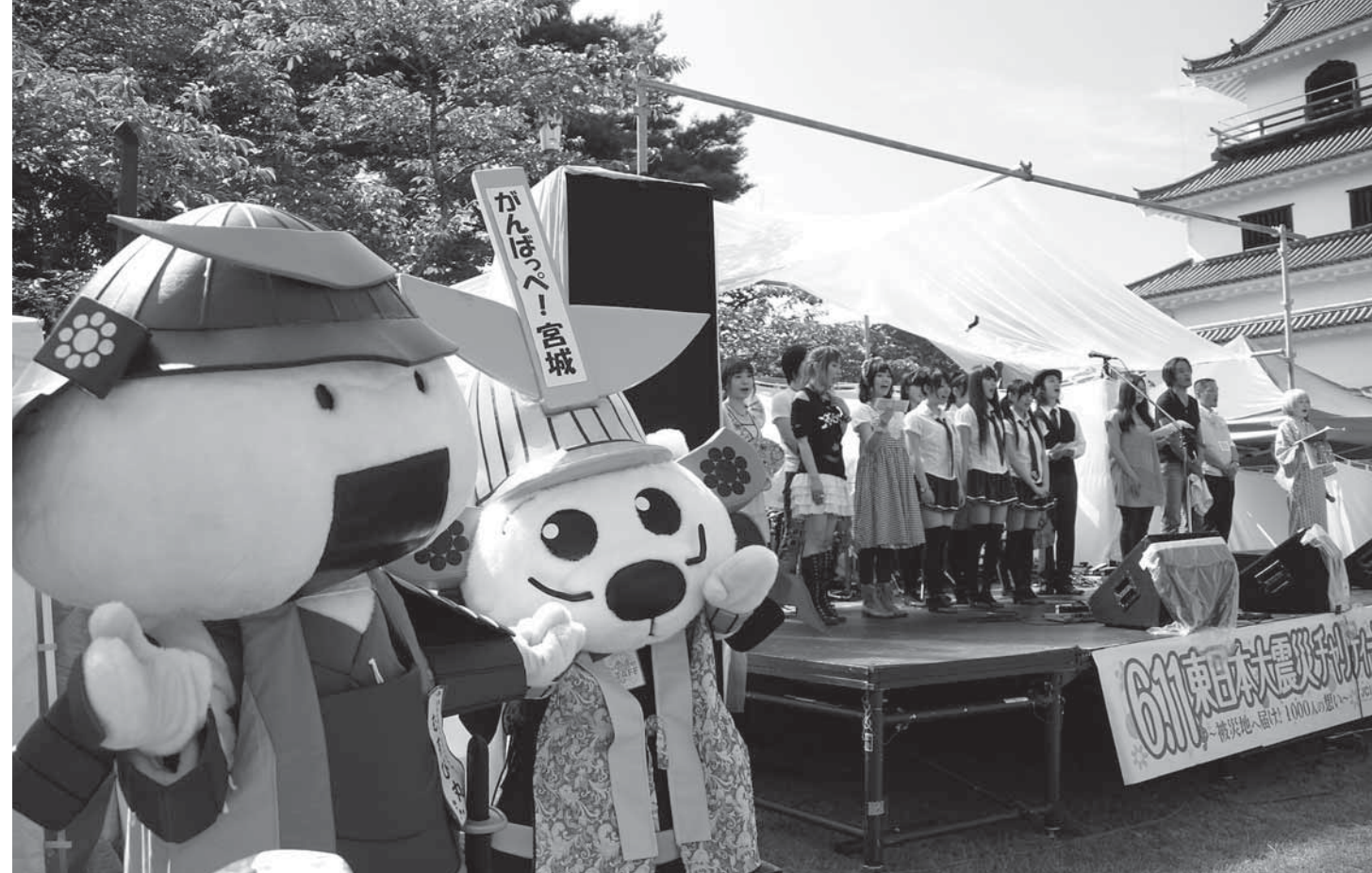




被災地へ届け!! 1000人の想い!

6月11日、被災された皆さんが明日へ向かう元気を少しでも持てるようにと、「東日本大震災チャリティコンサート」被災地へ届け!! 1000人の想い (主催: 白石青年会議所) が白石城で開催された。

仮設ステージで行われたコンサートは、すまいる大使の山崎パニラさんが進行。第1部には白石中、福岡中吹奏楽部と市民吹奏楽団の皆さん、すみれさん、ドロシーリトルハッピーさん、第2部にはマジシャンのTAKUYAさん、第3部にはriv. @さん、熊谷育美さん、坂本サトルさんが登場。歌やパフォーマンスを披露するとともに、復興への願いや想いなどを話した。

坂本さんは、「震災後、3カ月たちますが、被災地の復興にはまだまだ時間がかかり、被災された皆さんは大変な生活を送っています。『復興はまだ終わっていません。』日がたつにつれて忘れられることのないよう、これからも被災地の状況を伝え続けていきたいと思っています。被災地の復興のためにも、みんながさまざまな形で、今できることを続けていきたいと思います」と話した。

東日本大震災発生から3カ月になったこの日の午後2時46分、震災で犠牲になった方の冥福を祈った。この日はコンサートのほか、畳一畳ほどの布2枚に、復興への願いや想いなどのメッセージを寄せ書きしたり、被災地の子どもたちに絵本やおもちゃを届けている「こどもとあゆむネットワーク」から提供された児童書などを募金者に配ったりした。また、森川智之さんからの応援メッセージを放映したり、被災地を白石から応援しようと駆けつけた飲食店などが出店で自慢の食べ物を出したりと多彩なコーナーもあり、2,000人を超える人たちがにぎわった。

白石青年会議所の前田顕正理事長は「コンサートで集まった募金の全額と、出店の売上金の20%を、県内の災害復旧や復興事業のため宮城県に寄付します。被災された皆さんが少しでも元気になって、そして、私たち自身も元気になって、日々の暮らしや明日からの活動を充実したものにしていければと思っています。復興へ向けた活動はこれからも続けていきたいと思います」と話した。



復興に向けて 光輝く笑顔とともに――

3月11日午後2時46分、この時を境に、多くの人の生活が一変。「当たり前の日々」が当たり前でなくなった。

あの日から3カ月、被災地を支援しようと「いま自分に何ができるのか」を考え行動を起こす人たちが。その形はさまざまであるがそれぞれの想いがつな

がって元気を発信! 笑顔の輪が広がっている。復興への道を歩み始めた被災地。今、人々の想いが込められた支援の輪が大きな絆となっており、被災地の笑顔をつないでいく。笑顔の力を信じて、復興に向けて、光り輝く笑顔とともに!



1 寄せ書きを手に記念撮影をする白石青年会議所の皆さん 2 おじゃる丸でおなじみの大地内太郎監督が山崎パニラさんのつながりで白石市をサプライズ訪問! おじゃる丸とむすび丸のコラボメッセージを寄せた 3 笑顔で寄せ書きをするパニラさん